

2 主要な施策の成果と決算額

第5次総合計画の「めざす将来像」の実現を図るため、町民と行政の協働を基調とした「協働戦略事業」、第4次総合振興計画からの継続性を考慮した「分野別事業」に基づき、取り組みを進めました。なお、第5次総合計画基本構想は、平成27年12月に一部改定し、「めざす将来像」は4つとなり、協働戦略事業も1つ追加し4つの事業を位置付けるとともに、実施計画の期間も、前期と後期という区分に変更しましたが、雇用の場を確保し移住施策を推進するとともに住民サービスの維持に必要な財源確保を図るため、土地利用構想において産業誘導エリアを新たに追加する一部再改訂を、平成29年6月に行っています。

さらに、平成26年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年10月に策定した「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」も、第5次総合計画の実施計画の位置付けを持つ計画となっています。

令和元年度には、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業として、県の地域公共交通活性化促進事業補助金（補助金額500万円）を活用し、鳩山町地域公共交通会議負担金に充当し、町営路線バスの越生駅延伸による本格運行への移行、町内循環バスのはとんスクエアへの乗入を実現しました。

(1) 協働戦略事業

① シニア輝き戦略

● 高年者が輝くまちづくり事業（福祉・健康複合施設整備事業）

「シニア輝き協働チーム」から町へ提出された「健康寿命延伸のための取り組みの提言」及び「福祉・健康複合施設整備計画（案）」を受け、平成26年5月に「福祉・健康複合施設整備計画」を決定するとともに、平成27年3月に「第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画」を策定しました。

そして、実施するソフト事業を検討の上平成28年度から整備し29年7月にオープンした「鳩山町地域包括ケアセンター」は、現在「はとんスクエア」の愛称で親しまれています。

② はとやま再生・創造戦略

● 鳩山ニュータウン再生・創造事業（都市再構築戦略事業）

平成25年度に福祉・健康複合施設内に設置する特別養護老人ホームの整備法人を決定し、平成26年度にニュータウン内の公園・緑地の植栽や樹木の伐採・剪定、ジャンボ公園へのトイレ設置を行いました。

平成27年度に都市再構築戦略事業の採択を得て、国の社会資本整備総合交付金を活用し、福祉・健康複合施設の付帯施設の設計や、多世代活動交流センター体育館及びプールの解体工事を実施しました。

平成29年2月に特別養護老人ホームが、29年7月に「鳩山町地域包括ケアセンター」が開所となりました。

平成30年度に多世代活動交流センター耐震補強及び改修工事を実施し、令和元年度に3階部分を多目的集会室としてリニューアルオープンしました。

なお、令和元年度は、「鳩山ニュータウン地区都市再生整備計画」に基づく都市再構築

戦略事業である「町道第 2859 号線外歩道整備工事」、「都市再生整備計画の事後評価」にも着手しました。

●北部地域再生・創造事業（泉井・上熊井地区活性化取組方針推進事業）

平成 26 年 4 月に北部地域活性化推進室を設置し、平成 25 年 12 月制定の北部地域活性化基本条例に基づき、平成 26 年 5 月に泉井地区を活性化推進地区に選定し、平成 27 年 3 月に（平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間で 7 つの事業を実施する）「泉井地区活性化取組方針（第 1 期）」を決定しました。

また、平成 26 年 12 月に上熊井地区を活性化推進地区に選定し、平成 27 年 11 月に（平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間で 6 つの事業を実施する）「上熊井地区活性化取組方針（第 1 期）」を決定しました。

各地区の活性化取組方針に基づき、平成 28 年度に泉井交流・体験エリア整備実施設計、町営路線バス試験運行に着手し、平成 29 年度に泉井集落センター及び上熊井農産物直売所の実実施設計、泉井交流体験エリア整備に伴う用地買収、町道第 1 号線改良工事に係る用地買収事業に着手しました。

平成 30 年度には上熊井集落センター実施設計、町道第 1 号線改良工事（第 1 工区）、上熊井農産物直売所エリア及び泉井集落センター整備に伴う用地買収に着手しました。

令和元年度は、上熊井農産物直売所、泉井集落センター及び上熊井集落センターの建築工事に着手し、令和 2 年度中に完成する予定です。令和元年度末までの町道整備の進捗率は、1 号線が 33%、56 号線外が 54%となっています。

●全町公園化・遊休地活用事業（石坂の森保全活用事業）

平成 22 年度に設置した「全町公園化・遊休地活用事業協働チーム」から平成 24 年 3 月に町に提出された整備計画報告書をもとに、庁内 4 課で検討を行い、平成 25 年 3 月に整備内容及びスケジュールを決定し、拠点である石坂の森、菱沼周辺、笛吹峠周辺、鎌倉街道上道の一部整備に着手しました。

平成 26 年度には、石坂の森で、隣接する東松山市の市民の森と連携した両森の一体的な整備やウォーキング等のイベントを共催し、以降イベントの継続的な実施（令和元年度は中止）に繋がっています。

また、平成 28 年度に東松山市との間で協働プロジェクト事業開催を目的とした基本協定を締結しているほか、NPO 法人による森全体の環境整備も行われており、里山環境の保全に繋がっています。

このほか、菱沼周辺でも、谷津田周辺に残されている良好な里山環境を将来にわたって保全するため、ボランティアによる休耕田周辺の再生・整備を継続的に実施しています。

③ふれあいと賑わいづくり戦略

●企業誘致推進事業（再掲：泉井・上熊井地区活性化取組方針推進事業）

平成 26 年 11 月に株式会社良品計画鳩山センターが操業を開始、平成 27 年 9 月に食品系スーパーマーケット「ベイシア」が開店するなど、新たな企業誘致が実現しました。

平成 29 年度に、企業誘致の更なる推進に向けて、第 5 次総合計画の土地利用構想に産

業誘導エリアを追加する一部再改定を行うとともに、旧玉川工業高校跡地への株式会社ベジテックの立地希望に伴う地域住民説明会や事業者との協議を実施しました。

令和元年度は大字今宿地区への企業誘致を推進するため、町による文化財試掘調査の先行実施を行い、その結果を立地希望事業者等に配布しました。

●公共交通と商業の活性化推進事業（公共交通網形成計画推進事業）

急激な少子高齢化に伴う移動ニーズの多様化、厳しい財政状況、患者も利用できた埼玉医大スクールバスの運休、地域のニーズに見合った公共交通を支援する法律と国庫補助制度の創設などを受け、平成 21 年 7 月にデマンドタクシー医大便の試験運行（運賃無償）を、10 月に町内循環バスの（4 コースから 2 コースへの）見直しと併せてデマンドタクシー町内エリア便の試験運行を開始しました。

半年後の平成 22 年 4 月にデマンドタクシー及び町内循環バスの有償化に伴う利用離れを避けるため、乗車回数券発売記念として商工会加盟の一部店舗で使えるお買物券を付けましたが、その後お買物券制度を継続し、店舗の利用促進に繋がっています。

その後持続可能でまちづくりと一体となったより良い公共交通体系を構築することを目的に「鳩山町地域公共交通網形成計画」を平成 28 年 3 月に策定し、平成 28 年度に同計画に基づく「地域公共交通再編実施計画」の策定に着手しました。

この公共交通網形成計画に基づき、平成 29 年 1 月からの町営路線バス（北部線）の試験運行（運賃無償）に引き続き、4 月からは有償運行を開始し、10 月からは東松山市内にバス停を設置し、定期券を発行することで乗客増に伴う運賃収入の確保に繋がりました。

令和元年度には、警察協議・道路占用許可・一般乗合運送事業計画変更の認可を受けつつ、埼玉県「地域公共交通活性化促進事業費補助金」でバス停・大橋バス待合所兼運転手休憩所を整備し、令和 2 年 1 月 31 日に町内循環バスのはとんスクエアへの乗入、町営路線バスの越生駅東口への延伸に伴う本格運行への移行を完了し、これらを反映した公共交通マップを全戸配布することで、「地域公共交通再編実施計画」の実施事業が完了しました。

④心に響く夢づくり戦略

●ICT 利活用による産学官協働事業（地球観測衛星を活かしたまちづくり事業）

鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた事業で、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、平成 27 年 8 月に発見した小惑星 Hatoyamamachi の誕生を記念し、平成 28 年 1 月に宇宙をテーマとしたシンポジウムを開催しました。

平成 28 年度に近隣自治体も含め地域連携により様々な課題の解決を目指す組織として設立した「宇宙・産学官・地域連携（ここから武蔵）コンソーシアム」へ、平成 30 年度に地方創生推進交付金を活用した補助を行い、公開講座（月面を旅行している気分になるバーチャルリアリティー体験及び冬の星座を鑑賞するテレビ観望会）や鳩山町の休耕地を活用した地域連携ワークショップの開催事業などの実施につなげました。

平成 29 年度には、日本宇宙少年団鳩山分団を設立し、月 1 回程度の定例活動として、星空観察やペットボトルロケットづくりなどを行い、子供たちの好奇心を育て、健全育成に寄与しています。

※②はとやま再生・創造戦略と③ふれあいと賑わいづくり戦略の横断的な事業として、地域特産物の創造と農業及び産業の活性化を目指し、平成23年度に設置され、あんずの試験栽培を継続して実施していた「あんずの里づくり構想検討プロジェクト委員会」から、平成29年度に「あんずの里づくり構想（案）」が町に提言書として提出されましたが、町はそれを尊重し、町として構想を決定しました。

その後、「鳩山町あんず栽培加工組合」が設立され、各農園における管理や収穫作業、収穫した果実の加工や販売等を行っています。

(2) 分野別事業

分野別事業は、5つの分野にそれぞれ事業を位置づけており、令和元年度においては、各分野において事業を実施しましたが、その主な事業は以下のとおりです。

①「環境」・・・花と木と、人が織りなす潤いと魅力の里山

●鳩川等水質検査・ゴルフ場農薬水質検査委託料	1,700 千円
●公園清掃・管理等経費	27,789 千円

②「人づくり」・・・次代を支える人づくりと新たな文化の創造

●放課後児童健全育成事業業務委託料	44,321 千円
●保育児童委託料	193,116 千円
●つどいの広場運営事業費補助金	4,000 千円
●特定教育・保育施設等事業費補助金	28,552 千円
●子ども・子育て支援給付負担金	6,552 千円
●小・中学校少人数指導学習支援講師賃金	4,755 千円
●英会話指導業務委託料	3,951 千円

③「暮らし」・・・みんなが活躍できる質の高い健康な暮らし

●支え合いまちづくり推進事業委託料	6,612 千円
●総合相談支援事業委託料	15,439 千円
●障がい者福祉計画アンケート調査入力等業務委託料	1,430 千円
●高齢者実態調査業務委託料	1,760 千円
●健康診査委託料	10,945 千円
●予防接種委託料	23,610 千円
●はとやま健康21プランアンケート調査業務委託料	497 千円
●子育て世代包括支援センター母子保健型事業（賃金、備品購入費等）	3,009 千円

④「産業経済」・・・地域を明るく元気にする交流と産業の育成

●新規就農総合支援事業（経営開始型）補助金	3,000 千円
●農業用ため池耐震性点検調査業務委託料	23,628 千円
●商工会補助金（つつじ祭含む）	4,450 千円
●はとやま祭実行委員会補助金	2,700 千円
●企業誘致奨励金	30,000 千円

⑤ 「社会資本」・・・しっかりとした展望をもった社会資本の整備

●地域公共交通会議負担金（町内循環バス、町営路線バス、デマンドタクシー運行経費）	86,807 千円
●県道岩殿岩井線改良工事に伴う用地取得事業（繰越明許費含む）	71,565 千円
●町道第4号線外道路舗装修繕工事（須江・奥田地内、ニュータウン地内）	8,361 千円
●町道第2764号線法面保護対策事業（石坂地内、繰越明許費含む）	15,346 千円
●町内橋りょう長寿命化修繕工事（新唐澤橋外、繰越明許費含む）	22,862 千円
●橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料	6,050 千円
●防災行政無線（固定局）バッテリー交換等業務委託料	1,001 千円

(3) 別に策定する計画により取り組む事業

省略